

令和4年度 授業改善推進プラン全体計画

小平市立小平第九小学校

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 小学校学習指導要領
- 東京都教育目標
- 小平市教育目標
- 小平市教育振興基本計画

【学校教育目標】
 人間尊重・生命尊厳の精神を基調とし、心身ともに健康で人間性豊かな児童を育成する。
 ○よく考えすすんで学ぶ子
 ○助け合うやさしい子
 ○心も体もたくましい子

- 学校や地域の実態
- 児童の実態
- 地域社会・保護者の願い
- 教師の願い
- 時代や社会の要請



【学力向上に関わる学校経営方針】
 年間を通して安定した学級経営・専科経営を実践するため、教職員が「一人を大切に、みんなを大切にする学級・学校づくり」に取り組み「誰にでもやさしく、誰からも愛される学校」を目指す。そのために、「分かる授業の実践」など、計画的組織的に日々の研究に励み、指導力を高め、指導者としての人間性を豊かにしていく。



- 【各教科の指導の重点】**
- 基礎的な知識・技能の定着
・伝える活動の工夫
・東京ベーシックドリルの活用
 - 学習規律の徹底
・九小スタンダード
 - 朝読書 読書マラソン
 - 学年による教科担任制
・質の高い授業の促進

- 【道徳教育の指導の重点】**
- 相手の立場を考え、思いやる心の育成
 - 道徳実践力の育成
 - 教科用図書（道徳）や東京都道徳教育教材集の活用
 - 家庭や地域との連携による豊かな心の育成

- 【特別活動の指導の重点】**
- 望ましい集団活動を通して協力する態度を育む
 - 児童集会等の工夫・改善
・異学年交流を通して、他を思いやる心や社会性を育む

- 【生活指導の重点】**
- あいさつ運動の実施
 - 基本的な生活習慣の確立
 - 規範意識の育成
 - いじめ防止への取組～自己を大切にする心を育てる～
 - 安全指導、安全管理の徹底
 - 特別支援教育、教育相談の充実
 - 家庭・地域との連携

- 【総合的な学習の時間の指導の重点】**
- 地域の自然・文化・人材、社会環境を活用した体験的かつ探求的な学習活動
・課題を解決する力
・自分の考えや思いを発信する力
 - 環境教育、キャリア教育の充実
・自己の生き方を追究していく力

- 【外国語、外国語活動の指導の重点】**
- 教科用図書や「Welcome to Tokyo」の活用
・表現力とコミュニケーション能力の育成
・外国の文化や言語に触れる機会
 - A L T及び外国語活動指導補助員の活用

- 【進路指導の重点】**
- キャリア教育の充実
・自分自身の特性・長所に気付かせ自尊感情を育てる
・自己の将来に対する明るい希望や夢をもたせる
・意欲的に自己実現を図ろうとする
・小・中連携教育の取組の実施



授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫 教育環境の整備	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○どの子ども伸びる九小スタンダードの定着（視覚化、明確化、見直し） ○基礎基本の徹底 ○問題解決的な学習の重視 ○習熟度別学習（算数） ・個に応じた指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○時程の工夫による授業時数の確保 ○朝学習、読書の時間の設定と東京ベーシック・ドリルの活用 ○読書月間、旬間の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究の充実 ・東京都人権尊重教育推進校・小平市研究推進校として、人権尊重、生命尊重の精神を基調とし、教育活動全体を通して、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指す。 ○ミニ研修会の充実 ○他校の研究発表、研究授業に学ぶ体制づくり ○授業ウォッチ期間の設置（他の教員の授業から学ぶ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導計画・評価規準・評価計画の活用 ○児童、保護者、地域アンケートによる授業評価 ○日常的な計画(P)、実践(D)、評価(C)、改善(A)のサイクルの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域、保護者学校支援ボランティアとの連携 ○地域の教育的資源や教育力を活用した活動 ○学校経営方針に基づく学校説明会、教育実践報告会の実施

授業改善推進プランの活用

- 自己申告書（学習指導）に、授業改善推進プランとの関連を示し、授業づくりに関する振り返りができるようにする。
- 校内研究等における授業づくりで、授業改善推進プランに示した内容との関連を明確にして、プランの具現化を図る。
- 研修においても、授業改善推進プランに示された内容を踏まえ、プランを実行するための一助にする。
- 教育の今日的な課題や、教科等の実践上の課題についての情報提供の場として活用する。